

第1～3回 明日香村小委員会での指摘事項・意見等及びこれに対する対応

番号	回	ご意見	報告(案)への反映状況
①	第3回	○少し薄いと思うのが、自然の基盤の重要性である。川とか水系も含めてもう少し書いた方が良い	○明日香村の自然・地形を冒頭に記載
②	第3回	○ある時点で景観を凍結してしまうと、変わっていく生業と凍結した景観とのギャップがどんどん大きくなっていく。これは不可避であり、そのギャップをどう埋めるのかが重要	○社会情勢の変化と保存されてきた景観にギャップが生じてきたことを課題として記載
③	第3回	○交付金は、見世物化を防御してきた点でも評価できるのではないか	○交付金の支援について、村が一体的に守られる効果があったことを記載
④	第2回	○オーバーツーリズムで観光需要の高まりによる開発圧等に対する土地利用マネジメントがどれぐらい目配せが効くかということが重要	○今後新規に開発や建築等が行われる際には、住民生活と共存し、歴史的風土を良好に保全できる適切な土地利用が行われることを記載
⑤	第2回 第3回	○ストーリーについて、「観光客に分かりやすく伝えること」とほぼ同意義に捉えてはならないと思う。一番共有されるべきは、地元の方であって、その次に観光客に伝わるべき	○ストーリーの作り方について、歴史的風土や住民の生活を踏まえたものにするのを記載
⑥	第1回 第3回	○AR・VRは、すぐに陳腐化するものであり、それに頼るのではなく、遺跡本体の持つ本来の価値を魅力的に伝える整備を進めてほしい	○歴史展示にあたって、遺跡整備の重要性とともにAR・VRは「必要に応じて」を追記
⑦	第3回	○暮らしの中に遺跡があることが明日香の魅力であり、整備が進めば進むほど、暮らしから切り離される懸念がある。ショーケース化されないよう、そのギャップを検討し、どこまで整備していくか慎重に議論をすべき	○景観形成にあたって住民の暮らしと結びついた日常的な管理の価値を記載
⑧	第2回	○眺望ポイントは非常に重要であり、「ここで見てください」というポイントを明確にして整備していくことが必要	○情報発信の拠点や案内機能のほか「視点場」の充実を記載

番号	回	ご意見	報告（案）への反映状況
⑨	第2回 第3回	<p>○農業の技術は発展しており省力化を目指すチャレンジがあっても良いが、一方で古い農法、農業に魅力を感じる人も存在する。</p> <p>○（農業における）本当の効率化というのは、明日香法による歴史的風土保存や地形などの条件上、明日香村の中では難しいのではないか。</p> <p>○村が地域で住民の方と十分議論して方向性を明確化した上で、「今ある景観を守っていく」のであれば（業というものではなくて）、守るためのお金と人といったものを予算づけして、それを粛々と進めていく以外ないのではないか</p>	<p>○農地や里山における管理については、「集約化・省力化」ではなく、「保存のためにかけられる予算や担い手を考慮した実現可能な管理・利用の推進」に修正</p> <p>○村と地域住民歩及び土地所有者等が十分議論して方向性を明確にして取組を推進することを記載</p>
⑩	第3回	<p>○交通は自動車交通が問題になるため、公共交通以外にも自動車交通について触れる必要がある。</p> <p>○自動車交通による混雑に対し、既存の技術でも対応できることはかなりあるはずで、世界遺産登録後に着手するのでは遅く、具体策を考えていくべきなのではないか</p>	<p>○交通手段について、自動車交通をはじめ、早期に具体策を検討することなどを記載</p>
⑪	第2回 第3回	<p>○職場の二拠点化やリモートワークに伴い村で生活する人を増やすことについては、国全体としては進めていることだが、明日香村では違うのではないか。明日香村で移住等に関してチャレンジするメニューはしっかりと考え、移住希望者の属性を捉え、ちゃんとデザインしないとイケない</p>	<p>○新規移住については、移住希望者の属性を明確に捉え、メニューを組み立てることが重要であることを追記</p>
⑫	第3回	<p>○オーバーツーリズム対策として、来訪者の滞在・宿泊や消費に関する動向などの把握や交通需要予測等を行うことが重要であり、それらデータを積み重ねて、根拠を持った対策を打つ必要がある</p>	<p>○客観的なデータに基づいた公共交通等の検討を追記</p>
⑬	第3回	<p>○言葉として山林、里山、あるいは樹林地という言葉が出てきているが、里山というと今は農地、川、山が一体となった景観というように理解されている。包括的な概念で使っている言葉なのか、要素として使っている言葉のかなどを明確にして使っていくほうがよい。</p>	<p>○似た単語の使い方を再点検し、同じ意味は統一・そうでないところは使い分け（樹林・里山、風景・景観、歴史的資源・歴史資産、家なみ・町並み・街なみ 等）</p>

番号	回	ご意見	報告（案）への反映状況
⑭	第3回	○次期整備計画に向けて、「明日香らしさ」について、しっかり議論していくことには大いに賛成（委員会全体の議論を反映）	○明日香らしさについて今後も議論の必要性を記載
⑮	—	※文化庁文化審議会世界文化遺産部会答申（R6/9/9）	○令和6年度の世界文化遺産の推薦候補とするにあたり、名称が「飛鳥・藤原の宮都」に変更されたことを反映
⑯	—	○今後の金利上昇局面にあっては運用益を改善できることが見込まれる中で、運用益の低迷を交付金で補填するという考え方ではなく、まずは運用益の改善を促すような記述が必要ではないか。	○国からの支援について、「基金の運用の改善を図ることを前提にする」内容を追加